

## 「確率論」(熊谷隆著 共立出版) 正誤表 3

Update: 2014年5月11日

以下は、初版第4刷発行後に見つかったミスです。間違い・問題点をご指摘下さった、河備浩司氏、角田保氏に感謝いたします。

\*\*\*\*\*

◇注意◇ 「P11, l. 3」, 「P11, l. (-4)」は、それぞれ「11 ページ 3 行目」, 「11 ページ下から 4 行目」の意味。

P124, l. (-10):  $t_0, \dots, t_n \in \mathbf{N} \rightarrow t_1, \dots, t_n \in \mathbf{N}$

P124, l. (-7):  $P_{t_n-t_{n-1}}(x_{n-1}, x_n) \rightarrow P_{t_n-t_{n-1}}(x_{n-1}, x_n)$

P187, 問 2.3.8 の解答: 以下のように修正する。

$c_n$  を計算すると、 $n = 8, 9, 10$  においては  $c_n < a_{n,n-1} < a_{n,n}$ 、 $n = 7$  においては  $c_n = a_{n,n-1} < a_{n,n}$ 、 $n = 4, 5, 6$  においては  $a_{n,n-1} < c_n < a_{n,n}$ 、 $n = 1, 2, 3$  においては  $a_{n,n-1} < a_{n,n} < c_1 = c_2 = c_3$  となる。よって最適戦術は、「初めの 3 回はすべて見送る、4, 5, 6 回目は今までに一番良いものが出れば止める、7, 8, 9 回目は今までに 1 番良いか 2 番目に良いものが出れば止める」あるいは、「初めの 3 回はすべて見送る、4, 5, 6, 7 回目は今までに一番良いものが出れば止める、8, 9 回目は今までに 1 番良いか 2 番目に良いものが出れば止める」というものである。(10 回目はそこで終わるので必然的に止めることになる。) ちなみにこれによる成功の確率  $E[Z_1] = a_{1,1} \vee c_1$  は、およそ 0.637 となる。